

委員会 トピックス

議会運営
委員会

新十津川町議会

初の「夜間議会」を開催

結果分析と今後の方向性

《開催目的と効果について》

実施日 令和2年9月8日
目的 勤務等の事情により議会の傍聴が困難な町民の方々に対し、平日の夜間に傍聴する機会を作り、議会への関心を高めていただく。

《内容》

令和2年6月より「夜間議会」の開催に向け協議を始め、協議の結果、一般質問のみを午後6時開始で行うことを決め、準備に取り掛かった。

夜間開催を一般質問に限定することで、答弁のために待機する職員を最小限にとどめることができるが、開催に当たっては、理事者や町職員の理解と協力が不可欠である。実際に、セキュリティの観点から総務課職員一人に庁舎1階玄関での受付業務にも協力を頂いた。こうして、理事者側と議会側の双方の協力のもとで「本町初の夜間議会」が実現したのである。

当日の一般質問には7議員が登壇予定であったが、午後8時を過ぎたところで6人が質問を終え、最後の1議員の質問は翌9日に持ち越された。

― 傍聴人アンケート結果 ―

傍聴者16人中11人から回答を得た。
(回答者の内訳)

- 性別 男性7人、女性4人
- 年齢 40歳代2人、50歳代3人、60歳代3人、70歳代2人、80歳以上1人

- 傍聴の回数 11人中8人が初めて来たと回答

- 夜間議会の開催を知った手段 新聞折込チラシ、防災無線、新聞記事、知人からの誘い、ホームページなど

- 一般質問を聞いての感想 良かった 7人、悪かった 1人、どちらとも言えない 3人

- 夜間開催について 7人の方が今後も開催すべきと回答した。また、昼夜にはこだわらない、インターネットによる配信（録画）があればとの意見があった。

- 自由記載より（抜粋）
 - ・昼に仕事をしている人にも傍聴のチャンスがあるので良かったと思う
 - ・夜に開催することで議会への理解も進むのではないかと
 - ・様々な世代に傍聴の機会が与えられ、町政に対する意識の喚起につながるかと考える
 - ・今後も新十津川町ならではの傍聴形式に期待する

- ・傍聴は「初めて」の方が多かった
- ・住民には好評であった
- ・今回は比較的若い傍聴者が多かった
- ・日中しか傍聴できない人と夜間しかできない人、どちらも公平感を持つる取組であった
- ・住民に対し選択肢を広げることができたのは良かった

《一般質問の所要時間》

- ・町長への5議員の質問発言時間 50分27秒

次回開催への検証

傍聴者や、今回傍聴しなかった住民からも高い評価を得ており、アンケートでは継続を希望するご意見や町議会の取組への期待がつかえる意見もあった。

- ・町長の答弁発言時間 51分50秒
- ・教育長への2議員の質問発言時間 9分37秒
- ・教育長の答弁時間 10分13秒



上段：傍聴席 下段：モニター席

議会運営委員会では、今後も町理事者側の理解と協力を得ながら、年に1度は「夜間議会」を開催する方向性で進めたいと総括した。

次回開催については、令和3年6月の第2回定例会は、新庁舎での初の定例会であり、新しい会議設備の使用や傍聴者の誘導などに万全の態勢を整えられるかが不確定であることから、9月の第3回定例会以降での開催を検討していく。